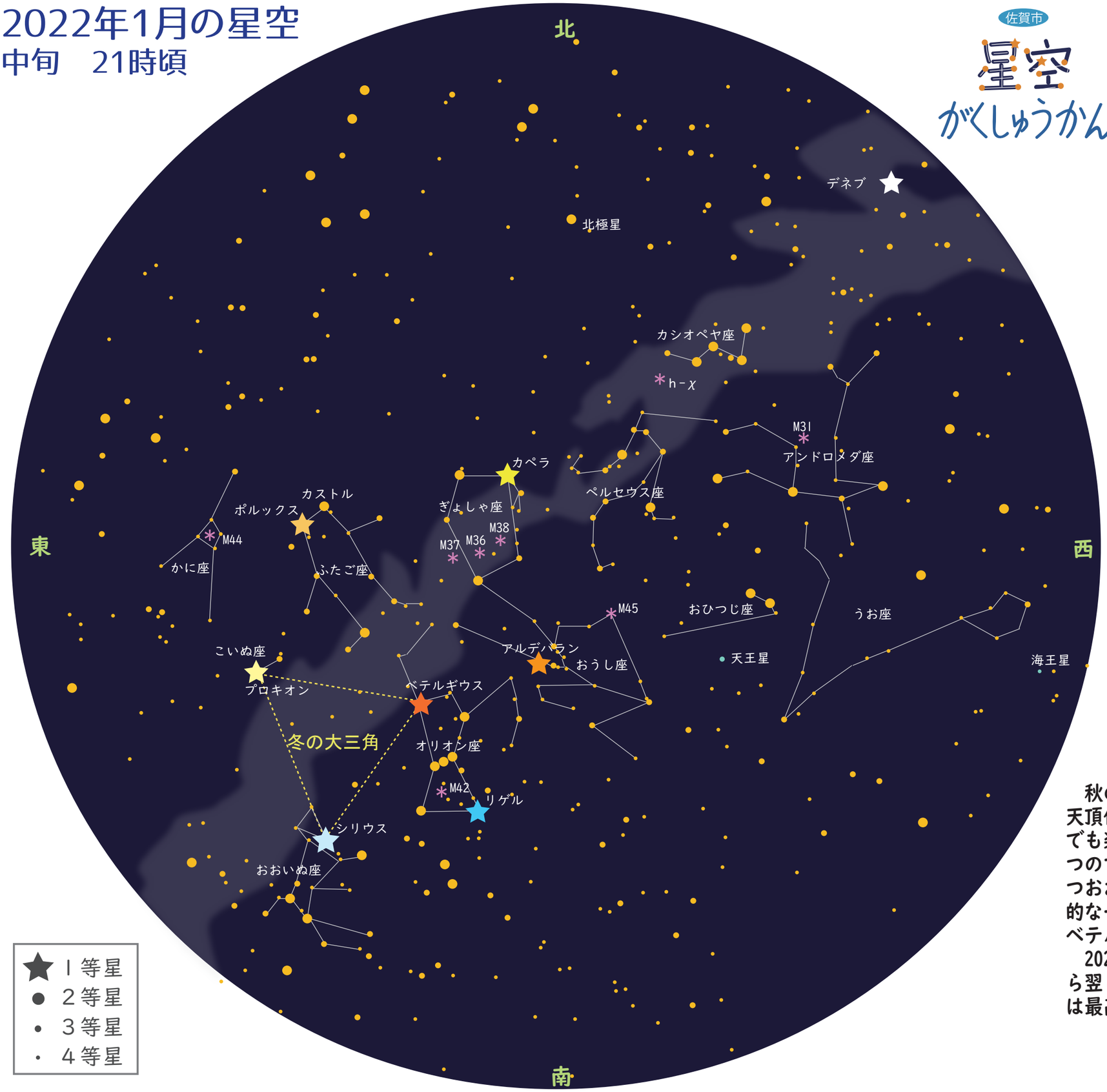
2022年1月の星空
中旬　21時頃



佐賀市 星空がくしゅうかん

★今月の天文現象とこよみ

1日 元旦
3日 新月
4日 しぶんぎ座流星群極大
5日 小寒（しょうかん）
7日 水星が東方最大離角
10日　成人の日
10日　上弦の月
17日　土用
18日　満月
20日　大寒（だいかん）
25日　下弦の月

水星が日没直後の西の低空で観察しやすくなります。

M45 すばる
おうし座の肩のあたりにある星団です。肉眼で6～7個の星が集まってみえる場所です。双眼鏡，望遠鏡ではさらにたくさんの星が見える美しい星団です。

カペラ
ぎょしゃ座の一等星で、北東の空高くで、明るく輝いています。冬の星座たちの中で最初に顔を出す一等星です。

アルデバラン
おうし座の右目のところに位置する赤い色をした一等星です。周囲は、大型の散開星団ヒヤデスの星々でにぎやかです。

水星
いつもは太陽に近く見づらい惑星ですが、1月上旬に、日没後の西の低空で見られます。日没後1時間くらいが好期です。

秋の星座は西に大きく傾き、冬の主役の星々が夜空を飾ります。天頂付近には すばる（プレヤデス星団）があり、肉眼や双眼鏡でも楽しめます。南東の空高く、オリオン座と冬の大三角が目立つので、星座をさがす起点としましょう。大三角を作る星のひとつおおいぬ座のシリウスは、全天でもっとも明るい恒星で、平均的な一等星の10倍も明るく輝きます。オリオン座の赤い一等星ベテルギウスは、超巨星として知られています。

2022年1月は、しぶんぎ座流星群が4日に極大となり、深夜から翌4日明け方にかけてが観察のチャンスです。今年の観測条件は最高で活発な活動を期待できます。